

名古屋大学情報連携基盤センター

共同利用システム速報

No. 76

平成 20 年 7 月 30 日 発行

目 次

1. スーパーコンピュータ、アプリケーションサーバーの更新について	1
2. IT相談コーナーの休止について	1
3. センターの休館について(再掲)	3
4. 計算サービスの休止について(再掲)	3
5. 可視化アプリケーション講習会の開催について	3

1. スーパーコンピュータ、アプリケーションサーバーの更新について

更新に伴うサービスの休止について

現在稼働中のスーパーコンピュータ、アプリケーションサーバのレンタル期間は2009年2月28日までとなっています。現在、新機種の仕様策定をすると共に、更新スケジュールの調整をしています。しかし、設備の整備、ファイル移行等などの作業のため2009年3月1日～2009年5月17日までの間は利用ができなくなります。利用者の方々には大変迷惑をおかけしますが理解と協力をお願いします。

また、長期にわたりサービスの休止をしますので、使用計画を立てるに当たっては考慮されますようお願いいたします。

詳しいスケジュールにつきましては、追ってお知らせします。

2. IT相談コーナーの休止について

8月8日(金)～8月19日(火)まで、IT相談コーナーは休みますのでご了承ください。

なお、緊急相談はホームページのIT相談室を活用ください。

3. センターの休館について

8月14日(木)・15日(金)は、名古屋大学一斉夏季休暇になりますので、センターを休館いたします。

4. 計算サービスの休止について

名古屋大学の夏季休暇に伴いシステムの効率的運用を図るため、スーパーコンピュータ(hpc)の計算サービスを、下記のとおり休止します。

・休止期間

8月14日(木)0:00 ~ 8月18日(月)15:00

なお、8月4日(月)と9月1日(月)の定期保守は、8月18日(月)の休止期間中に実施します。

メールサーバ(nucc)は、平常どおり運用します。

5. 可視化アプリケーション講習会の開催について

可視化アプリケーション講習会を、下記のように開催します。

講習会の特定セッションの受講や可視化相談のみの参加も受け付けます。

なお、可視化相談で、手持ちのデータがある方は当日お持ちください。

受講の申込は、センター4階事務受付(052-789-4355)で行います。

場 所: 本センター1階端末室

対 象: 本センター利用有資格者および学部学生

定 員: 15名

申込締切日: 各講習会開催日の4日前までです。

ただし、定員になり次第締切ります。

申 込 先: 本センター4階事務受付

電 話: 052-789-4355

メール: koshu@itc.nagoya-u.ac.jp

URL: <http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/cgi-bin/kousyu/csview2.cgi>

(電子メールで申し込む場合には所属、職名等の身分も明記してください。)

<各講習会内容と開催日時>

1) AVS/Express と VisLink 利用講習会

日時: 9月4日(木)13時~17時

9月5日(金)10時~16時

内容(1日目):

- ・ AVS/Express の概要と機能説明
- ・ AVS/Express のファイルフォーマットの説明
- ・ AVS/Express の基本操作
- ・ 可視化相談

内容(2日目):

- ・ AVS/Express を使ったプログラミングと可視化実習
- ・ リアルタイム可視化システム VisLink の概要と機能説明
- ・ VisLink を使ったプログラミングと可視化実習
- ・ 可視化相談

2) 可視化入門講習会

日時: 9月12日(金)13時~16時

内容:

- ・ 可視化の概要・事例紹介

- ・ 可視化機器の紹介(バーチャルリアリティシステム等)
- ・ 可視化実習と3次元動画コンテンツ作成(VisPlus システムを使用)
- ・ 可視化相談

3)IDL 利用講習会(中級編)

日時:9月18日(木)10時~17時

9月19日(金)10時~17時

内容:

- ・ IDL の開発環境 IDLDE の機能説明
- ・ プログラミング(変数, 構造, 制御ステートメント, データの入出力等)
- ・ ダイレクトグラフィックスの概要
- ・ 信号処理, 画像処理, 地図データ処理

<パッケージ一口メモ>

1)AVS/Express

ビジュアル・プログラミングにより、独自のグラフィックスアプリケーションの開発および可視化を行うツールです。流体解析, 構造解析, 計算化学, 医療画像などの幅広い分野で利用されています。大規模データにも対応しています。

可視化結果は、本センター1階端末室に設置してある可視化機器を使って、様々な可視化(大画面, 立体視, フライスルー等)を行うことができます。

2)VisPlus

VisPlus は、AVS/Express 上で動作し、3次元時系列データや各種のシミュレーション計算データの可視化を目的としたシステムです。可視化するオリジナルデータを基に、入力データの生成から、可視化処理、結果の保存までを一貫してサポートします。

詳しくは、次のURLを参照してください。

<http://sora.cc.nagoya-u.ac.jp/visplus/main.html>

3)VisLink

VisLink は、利用者の解析プログラムと AVS/Express とを連携させてリアルタイムに可視化を行うツールです。VisLink は、解析途中のプログラムの計算プロセスの把握や、早期エラーの発見, 対処を目的としたもので、トラッキング機能とステアリング機能が利用できます。

4)IDL

計測・実験, 数値計算, 統計解析, シミュレーション, ビジュアライゼーションなどで使用されているソフトウェアです。主に、データ解析, 可視化, アプリケーション開発に利用されています。地球科学, 宇宙科学の分野でよく利用されています。